

能×現代演劇  
work#03



作・演出 林慎一郎

2017年 8月20日 | 日 | 17時開演 16時30分開場

山本能楽堂

能演目「舍利」を、現代演劇と合わせて上演致します。  
古典芸能である能を新たな角度からのアプローチで  
お楽しみいただけます。

# 韋駄天

2017年  
8月20日 | 日 |

17時開演  
16時30分開場

お並びいただいた順番にご入場いただけます。

会場 **山本能楽堂**

山本能楽堂は、2016年、能×現代演劇workをスタートさせました。

#01「紡ぎ歌～鬼こもれりと聞かはまことか」では、能「安達原」をモチーフに、  
現代演劇作家が、一つの作品を創り上げ、半能と合わせて上演する初めての試みとなりました。

#02では、能「清経」を元に、現代演劇「心は清経」を仕舞とともに上演し、  
大変ご好評をいただきました。古典芸能である能を新たな角度からお楽しみいただけます。

## 能「舍利」あらすじ

出雲国の僧が都に上り、牙舍利（ブツダの歯）で有名な泉涌寺を訪ねる。僧が舍利を拝観していると、いつの間にか里人が一緒に舍利を拝んでいる。里人は、仏教がインドで起こってから日本にまで伝来した歴史（仏法東漸）を語り、仏舎利の尊さを讃える。すると突然空が曇り、稲妻が輝いたかと思うと、里人の顔つきが変わり、自分は実は、かつてブツダの死直後に舍利を奪った足疾鬼（足の速い鬼）の執心だと名乗ると、舍利を奪い、天井を蹴破って逃げてしまう。

ものすごい物音に驚いて、様子を見に来た寺男。お堂が荒らされた様子に、僧を責めるが、事情を説明され、かつて舍利が奪われた際には足の速い韋駄天という神様が舍利を取り戻したという話をする。そこで今回も泉涌寺守護の韋駄天に祈ることになる。

奪った舍利を懐に持って、空を逃げる足疾鬼。ふと気づくと、後ろから韋駄天が追いかけてきて、舍利を返すよう迫る。足疾鬼は舍利を抱えたまま、仏教世界の中心にある須弥山という山を駆け上がって逃げるが、途中で捕まり、一番下まで突き落とされてしまう。最後には、韋駄天に足で踏まれて責められるので、泣く泣く舍利を差し出すのだった。

## 林 慎一郎（極東退屈道場）

北海道函館市出身。劇作家・演出家。演劇ユニット「極東退屈道場」主宰。

代表作に、地下鉄に乗り込む都市生活者を点描した『サブウェイ』（第18回 OMS 戯曲賞大賞受賞）、コインパーキングから狂騒的に「現代」を切り取った『タイムズ』（第20回 OMS 戯曲賞大賞受賞）などがあり、本年、『PORTAL』が、第61回岸田國土戯曲賞最終候補作品にノミネートされた。現在、戯曲塾、伊丹想流私塾マスターコース・講師。劇作家、演出家としての活動の他、劇場主催の演劇ワークショップや、小学校、高校などでの講師も多数務めている。能×現代演劇シリーズは、全作品、作・演出を手掛けている。

<http://taikutsu.info/>

## 半能「舍利」

林本 大

笛 齊藤 敦

小鼓 古田知英

大鼓 森山泰幸

太鼓 上田慎也 他

## 現代演劇「韋駄天」

作・演出 林 慎一郎（極東退屈道場）

出演

小笠原 聡

加藤智之（DanieLonely）

小坂浩之

上瀧昇一郎（空晴）

村山裕希（doracom）

## 能×現代演劇 work#03

[入場料]

一般前売 **3000円**

一般当日 **4000円**

[チケット取扱い] 山本能楽堂

HP

<http://noh-theater.com>

TEL

**06-6943-9454**

[主催・お問い合わせ]

公益財団法人 **山本能楽堂**

[アクセス]

地下鉄谷町・中央線「谷町四丁目」駅下車  
4番出口より徒歩約2分。

谷町筋に沿って北へ。

1筋目（ホテルサンホワイト）手前を左折。  
一筋超えてすぐ左手。



平成29年度

文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



第9回

むりやり堺筋線演劇祭参加



舞台監督：黒飛忠紀 舞台監督助手：西口由梨 照明：魚森理恵 檜木順子 宣伝美術：酒井昌子

協力：空晴、極東退屈道場、DanieLonely、doracom、(株)リコモーション